

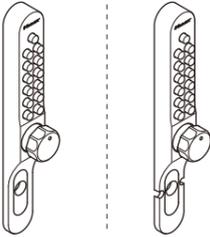
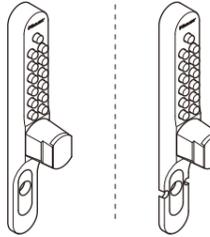
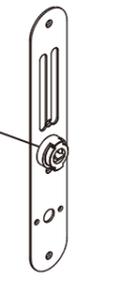
このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。



締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。
電動ドライバーは使用しないでください。

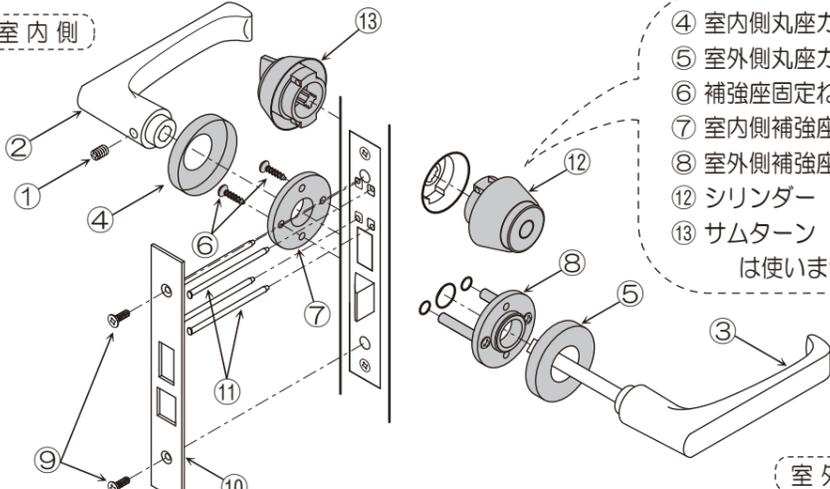
▲ 注意 《キーレックス 700 Mr-I・II》は MIWA LA 錠丸座仕様の対応品です。長座には対応できません。ご注意ください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

本体 (Mr-I か Mr-II のどちらか)				K 連結 ナット 取付済		E ゴムプレート	部品袋			説明書袋	
 キーレックス本体 (Mr-I) A 室外側本体 : B 室内側本体 1		 キーレックス本体 (Mr-II) A 室外側本体 : B 室内側本体 1		 C 補強プレート 室外側 (パイプ有) 1	 D 補強プレート 室内側 (パイプ無) 1	 E ゴムプレート 4	 F プレート固定ねじ 皿小ねじ D8 M5×7 6 皿 TPねじ C1 φ4×16 2	 G 本体取付ねじ なべ小ねじ M4×25 2	 H リング スパースー 2	 I 取説 set 1	 J キー (Mr-IIのみ同梱) 2

1 既存部品の取り外し

室内側



室外側

④ 室内側丸座カバー
 ⑤ 室外側丸座カバー
 ⑥ 補強座固定ねじ
 ⑦ 室内側補強座
 ⑧ 室外側補強座
 ⑫ シリンダー
 ⑬ サムターン
 は使いません

④室内側丸座カバー、⑤室外側丸座カバー、⑥補強座固定ねじ、⑦室内側補強座、
 ⑧室外側補強座、⑫シリンダー、⑬サムターン以外はすべて使用します。
 失くさないでください。

I: ①レバー固定ねじをゆるめ、②③レバーを抜き取ります。
 II: ④⑤座カバーをはずします。
 (ねじ込み式は回転させ、はめ込み式は⊖ドライバーではずします)
 III: ⑥補強座固定ねじをはずし、⑦⑧補強座をはずします。
 IV: ⑨フロント板固定ねじをはずし、⑩フロント板をはずします。
 V: ⑪シリンダー固定ピン4本を⊖ドライバーで抜き取り、
 ⑫シリンダー、⑬サムターンをはずします。

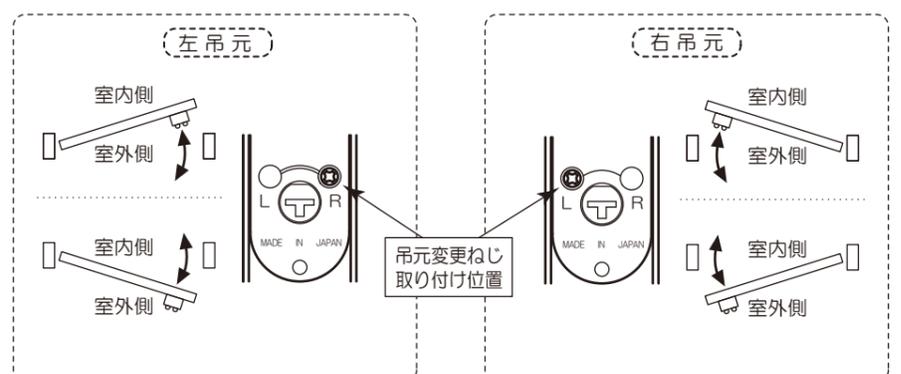
2 取付前の準備: Mr-I, Mr-II 共通 (本取説は、Mr-I モデルで説明しています)

【1】扉の吊元にあわせてキーレックス本体を調整します。

I: 右図で扉の吊元を確認します。

II: 吊元が違う場合はキーレックス本体裏の吊元変更ねじを右図のように入れ替えてください。
 吊元変更ねじはしっかりと締め付けてください。

▲ 吊元変更ねじを逆の状態に取り付けた場合、操作できなくなります。ご注意ください。

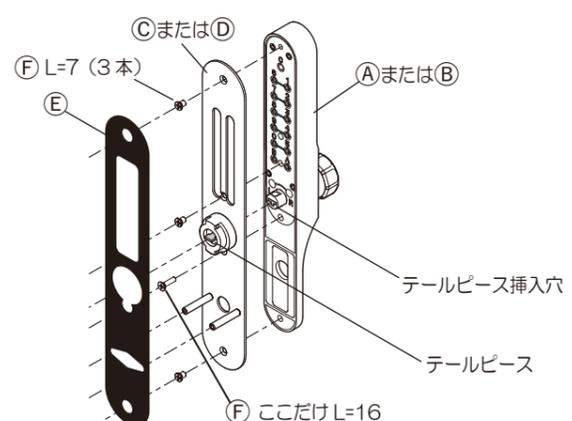


【3】A/Bキーレックス本体、C/D補強プレート、Eゴムプレートの固定

I: Gプレート固定ねじで、A(またはB)キーレックス本体とC(またはD)補強プレートを固定します。
 テールピースを、A(またはB)キーレックス本体のテールピース挿入穴に差し込み、
 Fプレート固定ねじ2種類(L=16 1本, L=7 3本)で固定します。
 ねじの取り付け位置にご確認ください。

II: Eゴムプレート(1枚)をセットし、両面テープでC(またはD)補強プレートと固定します。

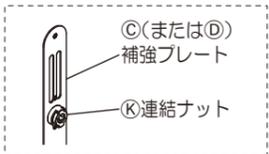
III: キーレックスA/室外側、B/室内側本体、両方に取付します。



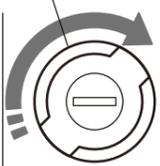
3 連結ナットの扉厚調整

I: 調整準備

㉔(または㉕) 補強プレートの
㉓連結ナットを右に回し
きります。



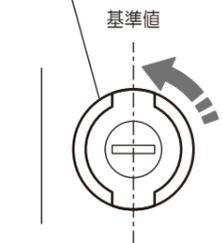
連結ナットを、右に回しきる



II: 基準値にする

連結ナットを左に少し戻し
ます。
はじめてタテ向きになった
ところが基準値です。

左に少し戻し、タテ向きにする



※ 連結ナットは必ず
タテ向きで使用して下さい。

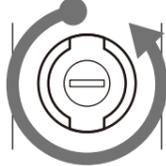
III: 各扉厚への調整

連結ナットを基準値から左に半回転で【扉厚 + 1 mm】
の対応です。
取り付け扉厚と一致するまで、連結ナットを回します。

調整例



連結ナット: 左半回転
→ 扉厚 + 1 mm



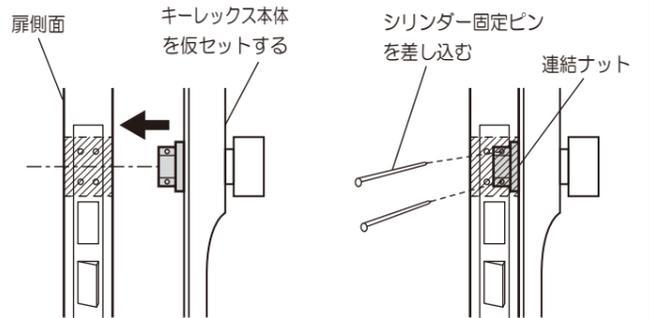
連結ナット: 1 回転
→ 扉厚 + 2 mm

基準値から 3 回転が調整限度です。
それ以上はおやめください。

IV: 仮セットと微調整

1: ㉔を参考に錠に本体を仮セットし、シリンダー固定ピン
を差し込みます。シリンダー固定ピンが差し込みない
場合は、連結ナットを回して微調整してください。

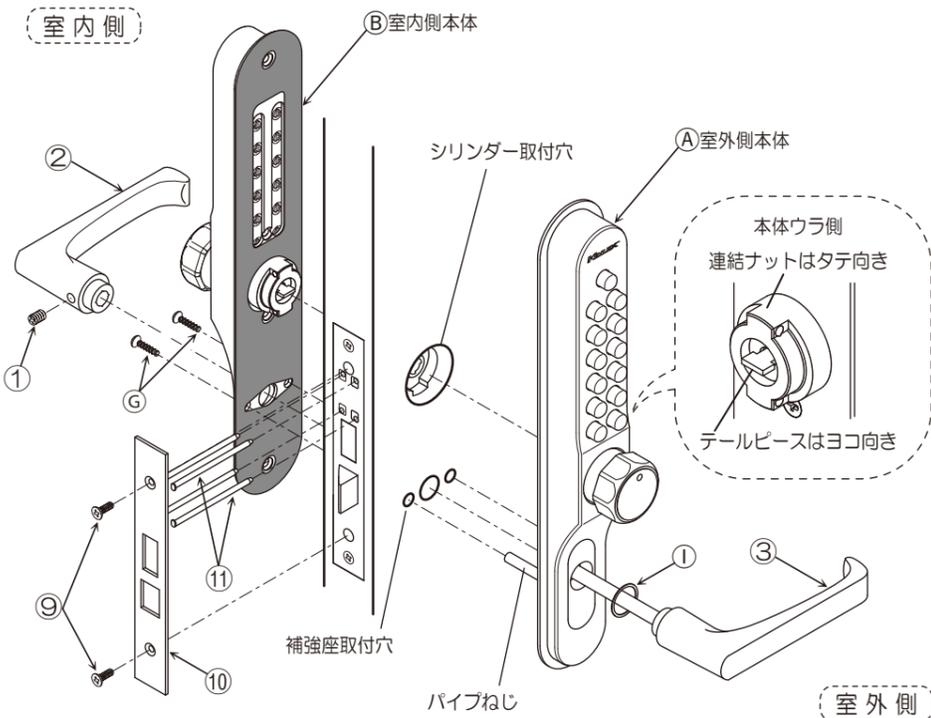
2: キーレックス本体と扉が密着するように調整します。
(室内側・室外側共に調整してください。)



(ピンが差し込みない場合は、
連結ナットを回して微調整)

4 キーレックス 700 Mr-I・II の取り付け

室内側



本図は KL700 Mr-I, 右吊元仕様

I: ㉑室外側本体パイプねじを扉の補強座取付穴にあわせませす。

本体中央の連結ナット部を錠のシリンダー取付穴にはめこみます。

II: ㉒シリンダー固定ピン 2 本をフロント部の穴 (室外側上下) に差し込み、
㉑室外側本体を固定します。

III: ㉓室内側本体も I、II と同じく ㉒シリンダー固定ピン 2 本をフロント部の穴
(室内側上下) に差し込み取付けます。

IV: ㉓室内側本体を㉑本体取付ねじで仮止めします。

㉔㉕レバーを仮嵌めし、室内側本体の位置を決め、㉑本体取付ねじを固定します。

~~ ※: レバーの作動確認をしてください。~~

V: ㉔㉕レバーを抜き取り、室内側本体を㉑本体取付ねじで本締めします。

VI: ㉖リングスペーサを㉔㉕レバーに通します。

VII: ㉔㉕レバーをセットし、㉗レバー固定ねじで固定します。

VIII: ㉘フロント板をセットし、㉙フロント板固定ねじで固定します。

※ キーレックス本体と、扉が密着していることを確認してください。

キーレックス本体と扉が密着していない時は、ゴムプレートを足してください。

4 作動確認: ロックターンが作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの確認、テールピースの取り付け位置を確認してください。

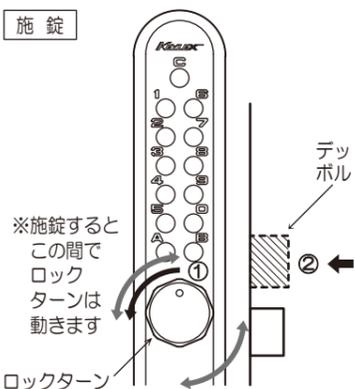
室内側 施錠: ㉑ロックターンを作動させ、㉒デッドボルトが飛び出すことを確認します。

解錠: ㉑C ボタンを押し、㉒正しい記憶番号を押します。

㉓ロックターンを作動させ、㉔デッドボルトが収まることを確認します。

㉕ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。

施錠

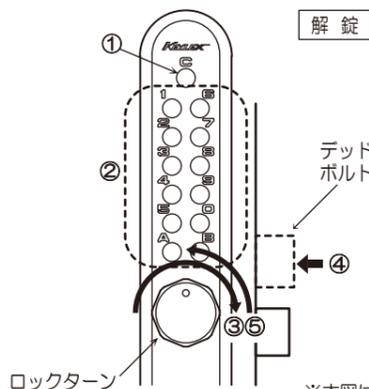


ロックターン

デッドボルト

※施錠すると
この間で
ロック
ターンは
動きます

解錠



ロックターン

デッドボルト

※本図は KL700 Mr-I, 右吊元仕様です。
左吊元時は対称です。

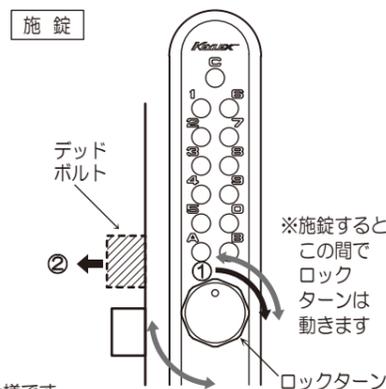
室外側 施錠: ㉑ロックターンを作動させ、㉒デッドボルトが飛び出すことを確認します。

解錠: ㉑C ボタンを押し、㉒正しい記憶番号を押します。

㉓ロックターンを作動させ、㉔デッドボルトが収まることを確認します。

㉕ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。

施錠

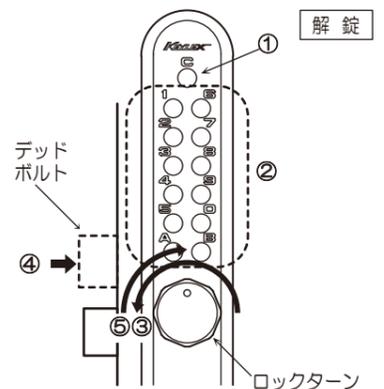


ロックターン

デッドボルト

※施錠すると
この間で
ロック
ターンは
動きます

解錠



ロックターン

デッドボルト